

## 第 12 回 下田市立学校統合準備委員会

日 時	令和 2 年 9 月 2 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 30		場 所	下田市民文化会館 2 階 大会議室	
委 員	氏 名 (役職名)	出欠	氏 名 (役職名)	出欠	
	森本 幸平 (会長)	○	武井 敦史 (副会長)	○	
	鈴木 元一	○	高橋 正志	○	
	磯崎 真紀子	○	鈴木 健五	○	
	森本 秀樹	○	山本 憶久	×	
	山田 貞己	○	日吉 智之	途中出席	
	森 英一	○	酒井 瞳	○	
	松永 祐一	○	鈴木 賢一	○	
	進士 高広	○	清野 大樹	○	
	渡邊 洋之	○	高瀬 雄司	×	
	糸賀 秀穂	○	外岡 康光	○	
	正田 成彦	○	山村 智	○	
	錦織 慶子	○	鈴木 めぐみ	○	
	松村 守人	○	伊藤 文彦 (オブザーバー)	校章のみ	
事務局出席者 職 氏 名	教育長 佐々木 文夫 学校教育課 課長 糸賀 浩 学校教育課 参事 和泉 多恵子 学校教育課 課長補佐 土屋 仁 学校教育課 課長補佐 平川 博巳 学校教育課 指導主事 檜山 和人 学校教育課 主査 土屋 真一郎 学校教育課 主査 原 隆史 下田東中学校 教諭 佐々木 浩彦				
発 言 者 名	発言内容及び事務局回答				
学校教育課長	<p><b>1 開会及び会議成立</b> 14 : 00</p> 定刻となりましたので、これより第 12 回下田市立学校統合準備委員会を開会させていただきます。本日は新型コロナウイルス感染症予防の観点からドア等につきましては、開放して会議をさせていただきますのでご了承くださいようお願いいたします。                 まず初めに下田市教育長から挨拶をさせていただきます。教育長、よろしくお願ひします。				
教 育 長	<p><b>2 教育長挨拶</b></p> 皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、本委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。                 本委員会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度末会議を中止、今				

<p>学校教育課長</p>	<p>年度はじめに予定されておりました会議を書面にて代えさせていただきました。</p> <p>その期間中、書面会議においては、今回任期にあたる会長、副会長の選任を議題とさせていただき、会長には森本幸平様、副会長には静岡大学の武井敦史先生ということでご承認をいただき、決定させていただくことができました。改めてここで、ご報告させていただきます。また、森本会長、武井副会長には快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、本日は、校章選定にご協力いただいております静岡大学教授でデザインを専門にご活躍されている伊藤文彦先生にお越しいただきました。お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。伊藤先生には、校章の第3次選考でご教示いただくこととなります。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>本日は、大きく6点について審査やご報告がございます。</p> <p>まず、1点目としまして、皆様に校章の第3次審査をお願いいたします。2点目は校歌について、3点目は部活動について、4点目は通学について、5点目は部会からの報告、6点目として整備工事などについて、以上の6項目について報告や提案を予定しております。</p> <p>新中学校を開設するためには、様々な検討項目があり、多角的な視点から検討していくことが求められます。4中学校の統合は、全国的にも稀な事例であり、誰もが初めての経験となります。こうした場面では、未来に向かって知恵を絞り建設的に議論していくことが重要だと考えております。統合の第一の目的は、子どもたちにとって魅力ある学校にするための教育環境改善です。子どもたちの成長を第一に考えた新中学校づくりが進められますよう、皆様のご意見をたくさん頂けたらと思っております。本日はどうぞよろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、本年5月、第11回下田市立学校統合準備委員会の書面会議におきまして、会長に選出されました森本会長、副会長に選出されました武井副会長、それぞれから一言、ご挨拶をいただきたいと思っております。まずは森本会長からよろしくお願いたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>改めまして、皆様、こんにちは。今朝の朝日新聞によりますと、8月の気温は例年より2.1℃高かったとのことでした。そのような暑い中、8月31日に下田中学校整備工事の安全祈願祭が開催され、松木市長を始め、勝俣衆議院議員、森県議会議員、市議会議員、市職員、報道関係者の方々が60人ほど集まり、祈願祭を行いました。暑い外のテントの中で1時間ほど行いました。しかし、そのことよりも強く感じたことがありました。割と年齢の高い方々が挨拶されたのですが、その中で非常に熱いものを感じました。例えば、来賓で来られた森県議ですが、過去に下田市には6校もの中学校があり、それが4校、そして今回1校になってしまう。だけれども、多くの生徒が集まる中で切磋琢磨し、教育効果が上がる学校にするんだという力強い挨拶をされました。また、施工業者を代表して、河津</p>

	<p>建設の社長さんから、生徒数減少などマイナスな面ばかりが目立つが、下田中学校の地盤は凝灰岩というしっかりとした地盤だそうです。その固い地盤の上で新しい魅力が始まろうとしており、施工業者として使いやすい校舎を作り、そこに集う生徒たちが校舎に対し良い思いを持ってもらえるような工事を行っていききたいという挨拶をされました。それらの挨拶を聞かせていただき、この学校統合準備委員会という組織自体を全市民の皆様が見守っていただいているのだなと、下田市の未来につながる大事な会議なんだと再認識させていただきました。その会長として、微力ですが、皆様のお力を頂きながら、新中学校がより良いものとなるよう精一杯頑張らせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ありがとうございました。続いて、武井副会長からも一言いただければと思います。武井副会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>副 会 長</p>	<p>この度、副会長を仰せつかりました、静岡大学の武井です。よろしくお願いいたします。昨日のテレビでこんなニュースがございました。東京の人口が初めて転入より転出が超過したと聞きました。また、前回の会議からコロナ禍によりしばらく時間が経過しましたが、その間、教育を取り巻く環境が、非常に大きく動いたと感じています。そこから見えてきたことは、恐らく未来の学校のカタチは今の学校のカタチとはガラッと変わったものになるということ。恐らくは、全ての授業を教員がやらなければならないという必要がなくなれば、生徒は常に同じところに居なくても良いこととなります。そして一方では、今回のコロナ禍で明らかになったこととして、地方の強さがやはり前面に出たということができると感じています。色々な文化資源を持っていて、自然も非常に多くあると。そして必要な情報程度であれば、ネットで相当カバーできるということ。ですがそのポイントとしてはどんなに環境が良くても、その中で行われる教育が良いもの、しっかりしたものでなければ、元も子もなくなってしまいます。ですので、これからは守りを攻めに転じて、どうしたら下田中学校のあり方を最大限良いものにしていくのか。そういったところを協議していく統合準備委員会にしていったらより良くなるのではないかなと感じています。微力ですが、森本会長をしっかり支えて、可能な限り力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ありがとうございました。  それでは、ここからの議事進行につきましては、下田市立学校統合準備委員会規則第5条の規定により、森本会長にお願いしたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、議事に入る前に会議成立について事務局から報告をお願いします。</p>

事務局担当 (原)	本日、委員総数 25 名のうち、22 名出席されておりますので、下田市立学校統 合準備委員会規則第 6 条の規定により本日の会議は成立となります。
会 長	ありがとうございます。本来であれば、年度が変わり、初めての会議ですので、 委員の皆様から一言ずつご挨拶を頂きたいところですが、時間の都合により、配 付資料の出席者名簿にて代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。
会 長	<p><b>3 議 事</b></p> <p><b>(1) 新中学校校章について</b></p> <p>それでは、これより議事進行をさせていただきます。円滑な議事進行にご協力 のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>次第に従い、「(1) 新中学校校章について」の説明を事務局からお願いします。 また、本日は校章選定にご協力をいただいております静岡大学教育学部の伊藤文 彦教授にご出席していただいておりますので、事務局からの説明に続き、特に校 章選定の視点などについてお話をいただければと思います。よろしくお願いいたします します。</p>
事務局担当 (原)	【 配付資料確認後、資料 1-1 から資料 1-5 に基づき「(1) 新中学校校章に ついて」説明 】
事務局担当 (佐々木(浩))	【 資料 1-2 から資料 1-5 に基づき、第 2 次選定された校章の特徴、校章選 定の視点などについて説明 】
会 長	ありがとうございます。それでは続いて、伊藤教授からお話をいただきたいと 思いますのでよろしくお願いいたします。
伊 藤 教 授	<p>静岡大学の伊藤でございます。この度は、下田市立下田中学校の校章等選定に 携わらせていただき、本当に光栄でございます。校章というものは伝統をつない でいくものであり、非常に息の長いもので、非常にやりがいを感じております。 先ほどもご紹介をいただきましたが、静岡大学の学章を私が作成していただきま したが、もう誰も、誰がこの校章を作ったのかという部分に興味はなく、誰がこ の学章を親しんで使っていったかといった部分が注目されます。そういった意味 でも校章選定というものは、美術展の賞を選ぶ部類というものではなく、この校 章であれば下田中学校の誇りになるのではないかとといった視点が重要であるのか なと思います。皆様が誇りになる校章を選定していただき、皆様自身も共同制作 者であると言っても過言ではありません。</p> <p>それでは具体的にどういった考え方で選定するのかという部分ですが、一般的 なマークの見方として大きく 5 つのポイントがあります。</p>

	<p>1点目は、シンプルであるということで、これは単純だという意味ではなく、簡潔であるかといったところを見ていただきたいと思います。2点目は、覚えやすいということ。ではどうやってそれを図れば良いのかといった部分ですが、例えば新しいマークはどんなもの？と問われた際に、皆様が鉛筆で書ける程度、口で説明できる程度、そういった意味では誰かに校章を説明できるものを選定していただきたいと思います。続いて3点目、時代に影響されないものになりますが、校章は長い間使われるため、例えば流行りのものを取り入れたりするとそういったものはすぐに古くなってしまいます。そういった意味で時代に影響されないものを意識していただきたいと思います。4点目は、多用途で使用することを意識していただき、例えば1色で表現する、2色で表現する、1cmや1mで表現すること、反転させることなどをイメージしていただきたいと思います。最後、5点目になりますが、妥当性があるかどうかということで、校章としての妥当性があるかどうか、皆様方それぞれが下田中学校をイメージし、そのイメージするための妥当性があるかどうかといった部分を見ていただきたいと思います。</p> <p>以上、5点になります。今回、選定される校章5点が、下田中学校の校章としての求心力になれるようなものになることを願っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明、また伊藤教授からのお話の中で、ご意見等ございますでしょうか。</p>
全 委 員	<p>特になし。</p>
会 長	<p>それでは、委員による選定を行いたいと思います。事務局から、本日配付されました資料1-3選定用紙の記入例を参考に、小学生1作品、中学生2作品、一般2作品、合計5作品の選定をお願いします。記入後の選定用紙につきましては、事務局が回収BOXを持って委員の皆様のところへ伺いますので、その中に入れてください。</p> <p style="text-align: center;">＜ 全委員、資料1-3選定用紙に基づき選定作業（約10分程度） ＞</p>
会 長	<p>それでは、選定用紙を開票いたします。ここからの進行については、事務局にお願いします。</p>
土屋課長補佐	<p>それでは、開票させていただきます。開票につきましては、選定用紙1枚ごとに、5作品を読み上げ、それを事務局で集計し、その集計の様子はプロジェクトにて映します。また、会長及び副会長に立会いをしていただきながら行わせていただきます。</p> <p>投票数が多かった作品を第3次審査の選ばれた作品とさせていただきます。な</p>

<p>土屋課長補佐</p>	<p>お、再選考が必要となった場合は、再度、委員の皆様を確認を取りながら、選定をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>— 会長、副会長、事務局で選定用紙枚数確認及び開票作業 —</p> <p>それでは、開票結果を報告させていただきます。</p> <p>小学校の部は 13 票で「小学生 2」、中学校の部は 13 票で「中学生 5」、7 票で「中学生 7」、一般の部は 13 票で「一般 7」、11 票で「一般 8」、以上の 5 作品となりました。それぞれ選定された方につきましては、</p> <p>小学校の部 稲梓小学校 5 年 土屋海人さん  中学校の部 下田東中学校 2 年 大和美紗さん  下田中学校 1 年 松井あゆかさん  一般の部 群馬県高崎市 井口やすひささん  静岡県下田市 渡邊研一さん</p> <p>以上、5 名の方になります。これら選定された方には、賞状と図書カード等 1 万円相当を贈呈させていただきます。</p> <p>以上、報告を終わります。</p>
<p>会 長</p>	<p>ただ今、事務局から報告がありましたとおり、小学校の部「小学生 2」中学校の部「中学生 5」「中学生 7」一般の部「一般 7」「一般 8」の 5 作品を統合準備委員会として、第 3 次審査として選定させていただきます。</p> <p>先ほど事務局から説明がありましたが、この 5 名の選定された方には、賞状と図書カード等 1 万円相当を贈呈させていただきます。また、先ほどの事務局からの説明のとおり、この 5 作品について、伊藤教授にリファインしていただき、順次校章選定作業を進めていくと同時に、併せて、制服のエンブレム、学校名ロゴ作成につきましてもよろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>最後に伊藤教授から一言いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
<p>伊 藤 教 授</p>	<p>今回、皆様を選定していただきました 5 点をリファインさせていただき、元の作品が持っている良さを最大限に活かしながら、先ほど 5 つのポイントをお話しさせていただきましたが、それらも意識し、考えながらリファインさせていただきます。お疲れさまでした。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございました。伊藤教授につきましては、ここで退席させていただきます。ここで 10 分間、休憩とさせていただきます。</p> <p>— 休憩（15：35～15：45） —</p>

会 長	<p><b>(2) 新中学校校歌について</b></p> <p>休憩を閉じ、議事を再開します。</p> <p>それでは、「(2) 新中学校校歌について」の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局担当 ( 原 )	<p>【 資料2に基づき「(2) 新中学校校歌について」説明 】</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明について、ご意見等ございますでしょうか。</p>
進 士 委 員	<p>校歌作成について、ミマスさんをお願いするということでしたが、校歌に入れてもらいたいフレーズについて、児童生徒との交流の中で提案をしてみたら良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>ありがとうございます。事務局としましても進士委員同様に考えておりました、子どもたちの思いを歌詞の中に入れていくプロセスというものを大切にしていきたいと考えております。</p>
会 長	<p>その他にご意見等いかがでしょうか。校歌を作成していただける方と実際に児童生徒が交流することができるのは本当に素晴らしいと思います。</p> <p>特にないようであれば、事務局からの報告のとおり、校歌作成について、統合準備委員会として、承認してよろしいか伺います。</p>
全 委 員	<p>異議なし。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、今後より良い校歌を作成していただくよう、スケジュールに沿って進めていただきたいと思います。</p>
会 長	<p><b>(3) 新中学校部活動について</b></p> <p>それでは、「(3) 新中学校部活動について」の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局担当 ( 原 )	<p>【 資料3-1から資料3-3、部活動指導員概要に基づき「(3) 新中学校部活動について」説明 】</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明について、ご意見等ございますでしょうか。</p>
全 委 員	<p>特になし。</p>

会 長	特にないようであれば、主に 10 月に開催する部活動加入希望調査の実施について、事務局から提案していただいた内容で、統合準備委員会として承認してよろしいか伺います。
全 委 員	異議なし。
会 長	ありがとうございます。それでは、部活動選定について、12 月の部活動決定に向け、スケジュールに従い、進めていただきたいと思います。
会 長	(4) 新中学校通学方法等について それでは、「(4) 新中学校通学方法等について」の説明を事務局からお願いします。
事務局担当 ( 原 )	【 資料 4 に基づき「(4) 新中学校通学方法等について」説明 】
会 長	ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明について、ご意見等ございますでしょうか。
日 吉 委 員	会議に遅れてしまい、誠に申し訳ございませんでした。いくつか質問をさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。まず敷根 1 号線付近の拡幅工事の進捗状況をお聞きしたいのですが、どういった状況でしょうか。
土屋課長補佐	昨年度から事業化されており、現在用地交渉を行っている状況と聞いております。しかしまだ具体的な工事等の実施には至っておりません。またいつまでに完成するのかといった部分につきましても確認できておりません。
日 吉 委 員	ありがとうございます。2 点目としまして、原則中学校への乗り入れが禁止されていると聞いておりますが、送迎の車についての苦情が入っていると聞いております。私も今朝、実際に見に行ったのですが、下田中学校への乗り入れが禁止されたことで、敷根公園や下田市民スポーツセンターへの乗り入れや路上停車等々、非常に混雑をしていました。今朝は晴れていましたが、雨の日のことを考えますと非常に不安です。その部分について、下田中学校の山田校長先生へお考えを伺いたいのですが、よろしいでしょうか。
山 田 委 員	8 月に入り、校舎等の大規模改修工事が始まりました。夏休み中は当然問題にはなっていなかったのですが、2 学期で学校が始まり、現在の校内につきましても、工事関係車両や仮囲いなども設置されているため、これまでのように車が乗り入れることは不可能な状況となっています。保護者の方に対しましては、学校

	<p>だよりやメール配信などをお願いはしております。そういった中で中学校に対しても、認定こども園を利用している方、下田市民スポーツセンターを利用している方などが困っていて、苦情をいただいております。その中でも特にスポーツセンターにつきましては、送迎の車の待ち時間を生徒が実際に施設の中に入ってしまったっておりまして、先日、スポーツセンターの方へは謝罪に行かせていただいたところです。敷根公園からの苦情につきましては、今のところ来ておりません。また、こども園の隣に賀茂危機管理局があるのですが、数日前に送迎の保護者の方と賀茂危機管理局に勤務されている方との接触事故があり、賀茂危機管理局の方からお電話を頂き、教育委員会への報告、賀茂危機管理局長への謝罪もして参ったところです。そのような中で、今夜、PTA運営委員会がありますので、現状のお話をさせていただこうと思っております。その運営委員会の協議、保護者の方のご意見をいただきながら、再度送迎を控えていただくようお願いを出させていただくことを想定しております。自転車通学者が現在 50 名ほどいるのですが、雨の日にその生徒たちをどうするのか。当然学校としてこの辺りに停めていただいてなんていうことはできません。そういった部分は、保護者の方の良識ある判断にお任せするほかないのですが、いずれにしても今夜の運営委員会でお願ひさせていただいた後、お便りでお願ひしようと思っております。命の危険の件など、色々なご意見があろうかと思いますが、2 km以内でしたら歩いて通学させていただきますとお願ひしようと思ひます。しかしながら大賀茂方面など、バス路線がない地域もありますので、そういった地域に限っては個々に対応させていただきたいと思ひます。現状の報告になりましたが、私からは以上になります。</p>
日吉委員	<p>ありがとうございます。提案があるのですが、ぜひとも公共交通の充実をお願いしたいと思います。路線バスがないところにぜひ路線をお願いしたいです。また広報が非常に重要で、SHKさんやKTVさんなどのメディアを活用し、現状を報告し、送迎車の乗り入れはダメなんですよという広報をしていただく必要があると思ひます。保護者の方のモラル向上、意識の向上、またルール作りが非常に大切だと思ひますがいかがでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>貴重なご提案、ありがとうございます。公共交通との連動につきましては、先ほど担当から説明させていただいたとおり、並行して協議を進めていきたいと考えております。また交通に関するルールやモラル向上なども当然、今からでもやっつけていかなければならないと思ひます。広報などにつきましても検討させていただきたいと思ひます。</p>
会長	<p>その他にご意見等いかがでしょうか。</p>
糸賀委員	<p>具体的に触れられていませんでしたが、これまでは2 kmから4 kmについては徒</p>

	<p>歩あるいは自転車という方針でした。敢えて触れさせていただきますが、市長選があった中で前市長はこの2kmから4kmの生徒の通学方法を全額補助とする公約を掲げていました。この公約について、いつ、どこでこのような公約として掲げるようになったのか。また教育委員会としてどのように関わったのか。当然、このような公約を掲げる上では財源的裏付けもあればこそだと思のですが、いかがでしょうか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>前市長が選挙公約として掲げられていたことは、私自身知っておりました。しかし、それ以前に市としての政策的な決定はなく、あくまでも前市長のお考えの元で公約として掲げられていたものだと理解しております。財源的な裏付け、また、教育委員会としての関わりですが、予算などについても十分協議した上で補助するという形でもなく、教育委員会事務局としましても前市長との協議はしておりませんでした。</p>
<p>糸 賀 委 員</p>	<p>選挙のビラは市民が見ています。教育委員会としてその公約を見て、何にも抗議などしなかったのですか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>あくまでも前市長の公約として掲げられているもので、その部分について教育委員会として抗議するものではありませんので、しませんでした。</p>
<p>酒 井 委 員</p>	<p>先日、PTAにおきまして協議をさせていただいたのですが、下田小学校区から通う子どもたちは今と全く変わらない状況です。そういった中で、今まであった中学校がなくなってしまう子どもたちの通学が一番大変だという意見を多くいただきました。遠くなる子どもたちが通いにくくなること。概ね2km以上が路線バスなどを選択できるような検討をさせていただいておりますが、子どもたちをいかに通いやすくするのか、例えばスクールバスに稲生沢の子どもが乗れないのかどうか、稲生沢の子どもだけでなく2kmから4kmの子どもたちはスクールバスに乗れないのか、また雨の日などは、空いているマイクロバスなどに乗れないのかなどそういった検討もしていただきたいと思います。</p>
<p>土屋課長補佐</p>	<p>現時点での想定になりますが、稲梓地区の想定生徒数でスクールバスはいっぱいになります。また、スクールバスを購入するにあたり国から補助金を頂くのですが、その中で6km以上の生徒が利用できるという制度となっているのが現状でございます。しかしながら、今後、生徒数は減少して参りますので、その減少に伴い検討していく必要はあると考えております。</p>
<p>会 長</p>	<p>その他にご意見等いかがでしょうか。</p>

外 岡 委 員	<p>通学時間帯のバス路線増便や旧中学校ごとの生徒数に応じたバスダイヤなど、東海バスさんとの協議や交渉は既に始まっているのでしょうか。朝日地区は現状自転車通学をしている生徒もいると思いますが、距離的にバスに乗れる生徒もいると思います。そのあたりはどうでしょうか。</p>
土屋課長補佐	<p>昨年度、その時点における増便等を考慮したバス路線図を資料として配付させていただいております。既に東海バスさんと協議はさせていただいております。白浜路線は駅経由で下田中へ、須崎路線は一旦下田駅で乗り換えをして下田中へ行く等々、併せて増便のダイヤのお願いをしています。東海バスさんとしても、概ねそのお願いに応じたダイヤを組んでいただけるという状況です。朝日地区は、吉佐美大賀茂線を使用したバス路線がないため、直接下田中へは行けません。距離的に路線バス通学になる生徒は、下田駅まで行き、乗り換えて下田中までいくルートを検討しています。</p>
会 長	<p>その他に何かご意見等いかがですか。特にないようであれば、今後、通学については、本委員会だけでなく、公共交通面を踏まえた下田市地域公共交通会議など、多角的な視点の中で検討していただき、ぜひ誰もが納得できるような方針となるよう期待しております。</p>
会 長	<p><b>(5) 部会からの経過報告について</b></p> <p>それでは、「(5) 部会からの経過報告について」の説明を本日、地域PTA部会を除く部会長さんがお集まりいただいておりますので、各部会長から報告をお願いします。</p>
部 会 長 及 び 事 務 局 会 長	<p><b>【 資料5に基づき「(5) 部会からの経過報告について」説明 】</b></p> <p>ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明について、ご意見等ございますでしょうか。</p>
全 委 員	<p>特になし。</p>
会 長	<p>ないようであれば、引き続き部会ごと、協議検討をスケジュールに従い、進めていただきたいと思います。</p>
会 長	<p><b>(6) 下田中学校整備工事等について</b></p> <p>それでは、「(6) 下田中学校整備工事等について」の説明を事務局からお願いします。</p>

事務局 (土屋(真))	【 資料6及び実施設計概要版に基づき「(6) 下田中学校整備工事等について」 説明 】
会長	ありがとうございます。それでは、ただ今の事務局からの説明について、ご意見等ございますでしょうか。
全委員	特になし。
会長	特にないようであれば、中学校の環境整備について、より良いものとなるよう、引き続き整備事業を進めていただきたいと思います。
会長	<b>4 その他</b> それでは、4 その他に入らせていただきます。事務局から次回委員会日程について、説明をお願いします。
事務局 (原)	【 次回委員会日程(12月予定)について、後日、日程調整書類を送付することを連絡 】
会長	次回委員会は12月ということになりますのでよろしく申し上げます。 最後に本日の委員会につきまして、副会長の武井教授から総括をいただきたいと思います。武井教授、よろしく申し上げます。
副会長	総括と言われるほどのものではないのですが、一言お話をさせていただきます。学校の統廃合というのは全国の事例などいくつか見っていますが、本当に難しいものです。学校数を減らしていくと同時に、明るい未来を創っていくという部分を紐づけていくことは非常に難しいことだと思います。そういった難しい学校統廃合を、この下田は本当に例外的に上手くいっていると思っています。通学や部活動など、他自治体を見れば、喧々諤々の状況でどこも非常に大変なことになっています。そういった中で、まさにこういった今日のような話し合いができるということが本当に下田の強みだと感じています。上から一律に決めていけば楽だし、シンプルです。しかし目指すべきことは、下田にとって良い中学校を創ること。複雑な問題となった場合など、そこで大事なことは、ある程度許し合って決めていくということが大事だと思います。コロナ禍で明らかになったように日本は厳しい規制をしなくても、世界と比べ感染をある程度食い止めていることから考えれば、人口が少ない下田はもっとそれを活かせることができるだろうと思います。それと特に、先ほど部会の報告にもありましたが、教育大綱案を未来の下田創造プロジェクト部会が作成して提案をしたとありましたが、皆さん、この報告を聞いて「ああそうか」という程度の認識かもしれませんが、自分の知る限り全国で

<p>会 長</p>	<p>こういったことが実現できたのは一つもありません。こういったことができる下田は本当に素晴らしいことです。最後、繰り返しになりますが、下田は、こうした話し合いができることが強みだと思いますので、今後も引き続き、よろしくお願いたします。</p> <p><b>5 閉 会 16:30</b></p> <p>ありがとうございました。それでは、これを持ちまして、第12回下田市立学校統合準備委員会を終了させていただきます。本日も、長時間にわたる審議、どうもありがとうございました。</p>
------------	---